

## 第8回 武蔵野市ごみ収集の在り方等検討委員会要録

- 【日 時】 平成 29 年 3 月 23 日（木） 午後 7 時 00 分～ 7 時 45 分
- 【場 所】 武蔵野市役所 8 階 802 会議室
- 【出席委員】 阿部迪子 今木仁恵 岡内歩美 加藤慎次郎 齋藤尚志  
迫田洋平 白石ケイ子 田口 誠 竹下 登 西上原節子  
能勢方子 花俣延博 濱中洋子 平岡直樹 古川浩二  
前田美和子 山本信之（敬称略）
- 【事務局】 柏倉課長補佐 他
- 【欠 席】 木村 浩
- 【傍 聴】 1 名
- 【配布資料】
- ・ 武蔵野市ごみ収集の在り方等検討委員会報告書（案）
  - ・ 武蔵野市ごみ収集の在り方等検討委員会報告書 資料編（案）

### 1 開 会

≪事務局より配布資料の説明を行った。≫

### 2 前回会議要録等の内容確認について

第7回会議の議事録をお配りしている。できれば3月31日の委嘱期間までにご確認いただき、修正箇所等があればご指摘いただきたい。資料は公表されるものなので、皆様が差し支えなければ、任期は切れてしまうが、4月第1週までにご意見をいただく形でもかまわない。

### 3 議題

#### (1) 武蔵野市ごみ収集の在り方等検討委員会報告書（案）について

≪事務局より資料「武蔵野市ごみ収集の在り方等検討委員会報告書（案）」「武蔵野市ごみ収集の在り方等検討委員会報告書 資料編（案）」についての説明を行った。≫

#### 【事務局】

本日、もしくは後日いただいたご意見をできるだけ報告書に反映させていき、成案として完成させたい。年度明けの4月に委員長・副委員長より市長に答申をし、5月に議会への報告を行う。また、市の“一般廃棄物処理基本計画”において、ごみに関する政策の進捗管理あるいは基本計画の見直しをする組織として位置づけられている“ごみ市

民会議”に、ごみ収集に関する課題検討組織である、当委員会が検討した結果を報告する。その際に“ごみ市民会議”よりご意見が出されればそれらも含め、この委員会で出された課題と取り組みの方向性を基に、今度はごみの行政収集の見直しの具体化の作業に入っていく。

なお、資料編に掲載している資料は、当委員会において資料としてお示ししているものであるが、P22「集団回収の課題」についてはご参照していただいた資料内容について第7回会議での議論を踏まえ、一部修正を加えている。

#### 【委員長】

最後の機会なので、何かご意見や修正等はあるか。

#### 【A委員】

報告書をじっくり読んで、全体としては良い意見にまとまっているのではないかと思われた。ただ、一つ気になる点がある。参考意見として言うが、プラスチック容器包装の有料化は積極的に進めた方が良いのではと思う。資料ではプラスチック容器包装を有料化するとごみ袋が増えて全体としてごみが増えるとなっているが、自分にはピンとこない。有料化した際に、皆さんが同じボリュームで袋を使うと、これだけ可燃ごみが増えるという計算であるが、現実問題と違うような印象を受ける。また、現在、プラスチック容器包装はどれだけごみに出そうとお金がかからない。このようなものは資源として価値があるのかというと、輸送コストを見るとそうでもない。多く出す人が多く払うといったことを考えると、有料化をもっと積極的に考えた方が良いのではと思う。

#### 【B委員】

プラスチック容器包装については、他のごみに比べると、微増ではあるがいまだに増えている。事務局の立場としては、こちらに書いてある検討課題については研究を継続して常に考えていかなければならないと思っている。武蔵野市の有料化の考え方としては、資源化されない「燃やすごみ」「燃やさないごみ」は有料化をし、資源にするものは無料という形で今までやってきた。今回の検討の中では、所得の高い方が多く住んでいらっしゃる武蔵野市において、有料化をすることによって負担を求めることのリターンとしての減量が有意なものとして確認できなかった。ただし、プラスチック容器包装の増加、それに対するコストというのは武蔵野市にとって非常に大きな課題であることは事務局側でも認識している。引き続き検討していきたい。

#### 【A委員】

期待している。

#### 【委員長】

その他に何かあるか。

#### 【C委員】

これだけの報告書にまとめられたことに対し、感心している。いま話があったプラスチック容器包装の有料化については、最初は私も同じように考えていた。ただ、有料化することによって、有料化した袋が可燃ごみになるということについては認識を新たに、それはそう簡単にできることではないと思った。今のプラスチック容器包装の収集を有料化して減る状態にあるかという、それは難しいという気がしている。いま、B委員から話があったように、今後の課題として、減量の取り組みを進めていく中で、そここのところが何かしら変わっていくことを期待している。

今回この会議に出させていただいて、色々勉強になった。先日、店頭回収活動のことで「クリーンむさしのを推進する会」でチラシを全戸配布した際、店頭回収事業を行っていない西友さんを、チラシの回収店舗の一覧に入れてしまったのでお詫びに伺った。最初は気色ばんだ様子であったが、今回勉強させていただいたおかげで、色々なお話をさせていただくことができ、活動についてご理解をいただいた。西友さんには、本社そのものが店頭回収事業をやっておらず、吉祥寺の店舗だけの問題ではないので簡単に自分たちで決めるわけにはいかないが、ごみ問題は重要なので、今後の問題として自分たちも考えていかなければならない、と言ってお話をいただくことができた。

集団回収についても非常に課題が多い。一時は販売店回収に力を入れて行政収集を無くす位の勢いでやっても良いのでは、と考えていたこともあったが、この報告書を読んで、お店と私たちが対立するのではなく、どのようにしたらごみを減らすことができるか、同じ目標に向かって一緒に力を合わせていかなければならない、ということを知らされた。

#### 【D委員】

今回、この報告書を見て感動した。修正点等はない。結果の出し方について、問題点をしっかり把握したうえで、出来ることはやる方向で、まだ課題がたくさんあるところは課題を把握したうえでこれから考えていくという、ありとあらゆる人の立場から考えられていて良かった。今まで10年位の間に福祉、コミュニティ、環境など色々な委員会に出てきたが、いつも答えが決まっているところに合わせていくような印象を受けたものが多かったのだが、今回はこの会議の中から出てきた意見が含まれており、特に新聞販売店や店頭回収している人たちが事業者の責任として義務でもないのに労力とお金をかけて一生懸命やっていたら、ちゃんとしてちゃんと答えていて、一歩進められたなと感じた。C委員がおっしゃったように、集団回収についても色々な立場の方の考え方も組み込まれていて良かった。行政がしっかり考えて、みんなの意見をまとめてこの

ように仕上がったのだと思う。

#### 【E委員】

我々事業系としては、店頭回収をするのは当たり前だとお客様からいつも言われている。私は、武蔵野市の他に、三多摩の2つの市の同じような会議に出席させていただいているが、容器包装リサイクル法のお金を払いながら自分たちで工夫してお金を出しながら店頭回収をしているということまで明記していただいたことに感謝している。さらには、店頭回収についてのインセンティブに関する記述があるので、店頭回収を実施している事業系の我々はちょっと期待している。それは冗談としても、行政が事業者に対して裏の部分まで見て、このような正規の議事録にまとめていただけたというのは、長い間このような商売をやっていて初めてのことである。そのような点でお礼を申し上げたい。まだまだ市民の皆様のご期待に沿えるような、すべてのリサイクルや店頭回収を出来るわけではないが、私どもが販売しているものに対して、少しでも前向きに会社を動かして、もっとトライアルしたいという気持ちになるようなまとめになっており、非常にありがたく思っている。今後ともよろしく願いたい。

#### 【副委員長】

この会議を始める際、委員長とどのような意見が出てくるのかとヒヤヒヤしていた。その意見を一生懸命まとめることに初めは集中していたが、色々な話を聞いて一から勉強して、難しかったけれども皆さんで作上げた良い会議だったと思う。このような会議は珍しい。普通は作り上げられたものの中で議論をしていくので、こうやって作っていった結果、私たちのこれからの課題をもらった気がする。これが終点ではないので、この課題を持ってこれからどうしていくかという事を、これからの論議にしていきたいと思う。みんなでこうやって論議できたことは、お互いに感謝する気持ちというものがあると思う。良いものが作り上げられたと感じた。

#### 【委員長】

そのほかにご意見はあるか。

#### 【C委員】

先程、事務局から今後の進め方について説明があった。年度が明けて4月に市長へ答申し、5月に議会へ、そして“次期ごみ市民会議”に報告をする。その後で具体的な作業に入るとのお話であった。前回の会議の時に、資源物についてはプラスチック容器包装を除いて、収集頻度については月2回の収集になるとのことであった。この案が通ったときには大変な作業になるかと思われるが、具体化するのにどのくらいの期間を考えているのか。

### 【B委員】

収集頻度の見直しについては、市民への周知や収集していただいている事業者への説明をする必要があり、併せて契約の内容変更についても行う必要があるため、一定の時間がかかる。ただし、あまり先延ばしにすることはよろしくないため、早急に区切りのよいタイミングで見直しを行えば、と思っている。通常、ごみの関係で見直しを行うタイミングとしては、年度の半ばの10月、もしくは年度の切り替わる4月が多いかと思う。事務方としては、見直しを具体化するために早急な対応という部分で努力していきたいと思うが、現時点で具体的にいつとはお伝えできない。区切りの良い時期でなるべく早急に、と考えている。

### 【副委員長】

「クリーンむさしのを推進する会」の店頭回収のチラシを昨日家で拝見した。「良いな」と思ったのは「お買い物のついでに」という言葉が入っていること。この言葉があるのと無いのでは大違い。唐突に「お店に返そうペットボトル」と書いてあるよりも人々の心に響くものがあると思った。

### 【C委員】

ごみ総合対策課長からのご意見も踏まえ、事業者への思いが私たちにもあることを知ってもらうことが大事だと思った。ただ「お店にお返しください」という事だけを出ただけだと事業者に対して、こちらがお願いに行きにくい。私たちも配慮をしているので非常に負担をかけると思うけれどもよろしくお願ひしたい、という気持ちでチラシを作成した。チラシの裏面には、行政回収だけで行くと税金だけで賄っていかないと知らないが、店頭回収をしていただくと事業者の費用で行うことになり、これがどんどん増えていくと事業者の負担が心配ではあるが、行政の方もその事に対するフォローの必要性を感じているとのことであり、私たちも店頭回収を勧めやすい。チラシには「店頭回収協力店」や「環境に配慮したお店」といった文言を入れることによって事業者の努力がご理解いただけるのではないかと思い、このような仕上げをさせていただいた。

### 【委員長】

その他に何かあるか。全体的な感想でも良いが、修正点等はあるか。

### (2) その他

### 【事務局】

報告書(案)について、現状のものについても「てにをは」や誤字、脱字のような細かい部分の修正はあるが、内容に関する事で、何かご意見等があれば3月29日までに

お寄せいただきたい。皆様からご意見をいただいた後の報告書案の修正については、事務局と委員長に作業を一任いただきたい。また、本日の会議録については公開の対象になる。至急作成しお送りするので、お目通しいただき、皆様の任期を過ぎてしまい申し訳ないが、何かあれば4月第2週くらいまでにご連絡いただきたい。なお、報告書案については、3月29日までいただいたご意見をもとに委員長とご相談した後成案化したものについては委員の皆さまにお示しをする。その内容が答申されるものである。

**【委員長】**

では、そのような手続きで進めさせていただいてよろしいか。

(発言なし)

これですべて議題は終了である。8回にわたりご協力をいただき、誠にありがとうございました。当初、具体的な案を考えないといけないということでスタートしたが、考えているうちに方向性を示すだけでも多くの議論があつて、そこで出てきたものがまとまったということで、当委員会の責務というのを果たせたかと思う。今後、これをもとにして、具体的な政策を考えていくときに活かしていければと思っている。では、ご意見があれば、3月29日までにお寄せいただきたい。

それでは、これにて第8回の会議を閉会とする。

以上